

## ● 日本の主な火山活動

霧島山（新燃岳）では、火山性地震が 2 日に 201 回発生するなど、4 日まではやや多い状態で経過した。また、浅い場所を震源とする低周波地震は時々発生している。火山性微動は 2017 年 11 月 30 日以降、観測されていない。GNSS 連続観測では、2017 年 7 月頃から霧島山を挟む基線の伸びが継続している。このことから、霧島山の深い場所でマグマが蓄積されていると考えられるので、火山活動に注意が必要である。弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口から概ね 2 km まで、火砕流が概ね 1 km まで達する可能性があるため、火口から概ね 2 km の範囲では警戒が必要である。

桜島の昭和火口では、噴火が 1 回発生した。南岳山頂火口では、ごく小規模な噴火が時々発生した。始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ供給が継続しており、今後も噴火活動が継続すると考えられる。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

口永良部島では、火山性地震が概ね多い状態で経過し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 2014 年 8 月の噴火前よりもやや多い状態で経過していることから、引き続き噴火の可能性がある。新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒が必要である。

西之島では、噴火活動が 2013 年から 2015 年まで継続した後、休止期間を挟んで 2017 年 4 月に再開した経緯を踏まえると、今後も噴火が再開する可能性が考えられる。火口から概ね 1.5 km の範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

浅間山では、山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震の活動は、2017 年 11 月頃から徐々に低下しているが、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや多い状態で、微弱な火映が観測されるなど、火山活動はやや活発な状態で経過している。今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島の御岳火口では、ごく小規模な噴火が時々発生した。今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、硫黄山付近で 17 日から 21 日にかけて微小な地震を含む火山性地震がやや増加し、22 日は振幅の小さな浅い低周波地震が発生した。23 日に気象庁機動調査班が実施した現地調査では、硫黄山東側の熱異常域のわずかな広がりを確認したが、その他の熱異常域に特段の変化は認められなかった。GNSS 連続観測では、2017 年 7 月頃から霧島山を挟む基線の伸びが継続している。このことから、霧島山の深い場所でマグマが蓄積されていると考えられるので、火山活動に注意が必要である。硫黄山火口内の活発な噴気域及び熱異常域とその周辺の概ね 100 m の範囲では、噴気孔からの高温の土砂や噴気、熱水等の規模の小さな噴出現象に十分注意が必要である。また、火山ガスにも注意が必要である。

**表 1 12 月 31 日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況  
（※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中）**

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	霧島山（新燃岳）、桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル 2（火口周辺規制）	浅間山、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	上記以外の火山

\*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。

[凡例]  
 火山名  
 （噴火警戒レベル、キーワード）  
 レベル対象外火山はキーワードのみ  
 ※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中



**図 1 12 月 31 日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山**

**表 2 平成 29 年 12 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴**

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 46 号～56 号	1 日、2 日、3 日、 4 日、8 日、11 日、 15 日、18 日、22 日、 25 日、28 日 16 時 00 分	2 日に増加した火山性地震の状況。 噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 97 号～105 号	1 日、4 日、8 日、 11 日、15 日、18 日、 22 日、25 日、28 日 16 時 00 分	噴火の状況。噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 97 号～106 号	1 日 16 時 00 分 1 日 17 時 10 分 4 日、8 日、11 日、 15 日、18 日、22 日、 25 日、28 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 96 号～104 号	1 日、4 日、8 日、 11 日、15 日、18 日、 22 日、25 日、29 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
北海道 駒ヶ岳	噴火予報(噴火警戒 レベル 1、活火山で あることに留意)	解説情報(臨時) 第 6 号～11 号	1 日、2 日、3 日、 4 日、5 日、6 日 16 時 00 分	火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による噴気、熱活動等の状況。
		火山活動解説資料	27 日 18 時 40 分	
白山	噴火予報(噴火警戒 レベル 1、活火山で あることに留意)	解説情報(臨時) 第 4 号～9 号	1 日、2 日、3 日、 4 日、5 日、6 日 16 時 00 分	噴気、火山性地震等火山活動の状況。
霧島山(えび の高原(硫黄 山)周辺)	噴火予報(噴火警戒 レベル 1、活火山で あることに留意)	解説情報(臨時) 第 64 号～67 号	22 日 15 時 30 分 23 日 16 時 15 分 24 日 16 時 00 分 25 日 16 時 10 分	17 日から 21 日にかけて増加した火山性地 震、地殻変動等火山活動の状況。 現地調査による噴気、熱活動、地殻変動等 の状況。
		火山活動解説資料	25 日 17 時 30 分	

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。霧島山(新燃岳)、桜島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報(定時)を発表している。